

2020 年度

大阪大学大学院工学研究科

# 博士前期課程 学生募集要項

< 2020 年 4 月入学 >

- ※ 在留資格が「留学」である外国人留学生は、出願できません。  
International students with “Student” resident status are  
not eligible to apply for this entrance examination.

2019 年 3 月

# 目 次

【工学研究科アドミッション・ポリシー】

【工学研究科の改組予定について】

1. 募集人員 .....	1
2. 出願専攻・コースについて .....	3
3. 出願資格 .....	7
4. 出願資格審査 .....	8
5. 出願手続 .....	9
6. 検定料 .....	9
7. 出願書類 .....	13
8. 入学者選抜 .....	16
9. 合格者発表 .....	18
10. 入試成績の開示について .....	18
11. 入学料及び授業料・入学手続 .....	19
12. 過去問題、試験内容、研究内容等に関する問合せ先（各専攻連絡先） .....	20
13. 個人情報の取扱いについて .....	21
14. 注意事項 .....	21
15. 筆記試験科目 .....	22

本募集要項の掲載内容に変更がある場合は、本研究科ホームページの大学院入試情報  
( [http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g\\_admissions.html](http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions.html) ) において随時公表します。

## 【工学研究科アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、工学研究科では、人類社会の持続的発展のために独創的な科学技術の進歩に貢献し、高い倫理観を持ってその恩恵を国際社会に還元したいという強い意欲と向上心に溢れ、次のような資質を持つ人を求めています。

- (1) 専攻分野における基礎的・専門的な知識並びに技能
- (2) 主体的に問題に取り組み、課題解決のために論理的な考察を行う能力
- (3) 自らの考えを的確に伝えるための表現力や討論する能力
- (4) グローバルなコミュニケーションに必要な英語力

博士前期課程では、このような人材を求めるために、筆記試験と口頭試問から成る一般の入学試験を実施しています。また、研究能力に特に秀でた学生を国内外から広く受け入れ、優れた研究者・技術者を育成するために、博士前期課程推薦入学特別選抜制度による入学試験、留学生を対象とした外国人留学生特別選抜制度による入学試験、4つの英語特別コースの入学試験を設けています。

博士後期課程では、上記の資質に加え、以下に示す能力を有する人材を求め、筆記試験と口頭試問等から成る一般の入学試験を実施します。

- (1) 博士論文研究分野に関する先端的知識と技能
- (2) 自ら実施した研究を整理して論文を作成する能力、及びその内容・成果を発表し、それに関する討論を行う能力

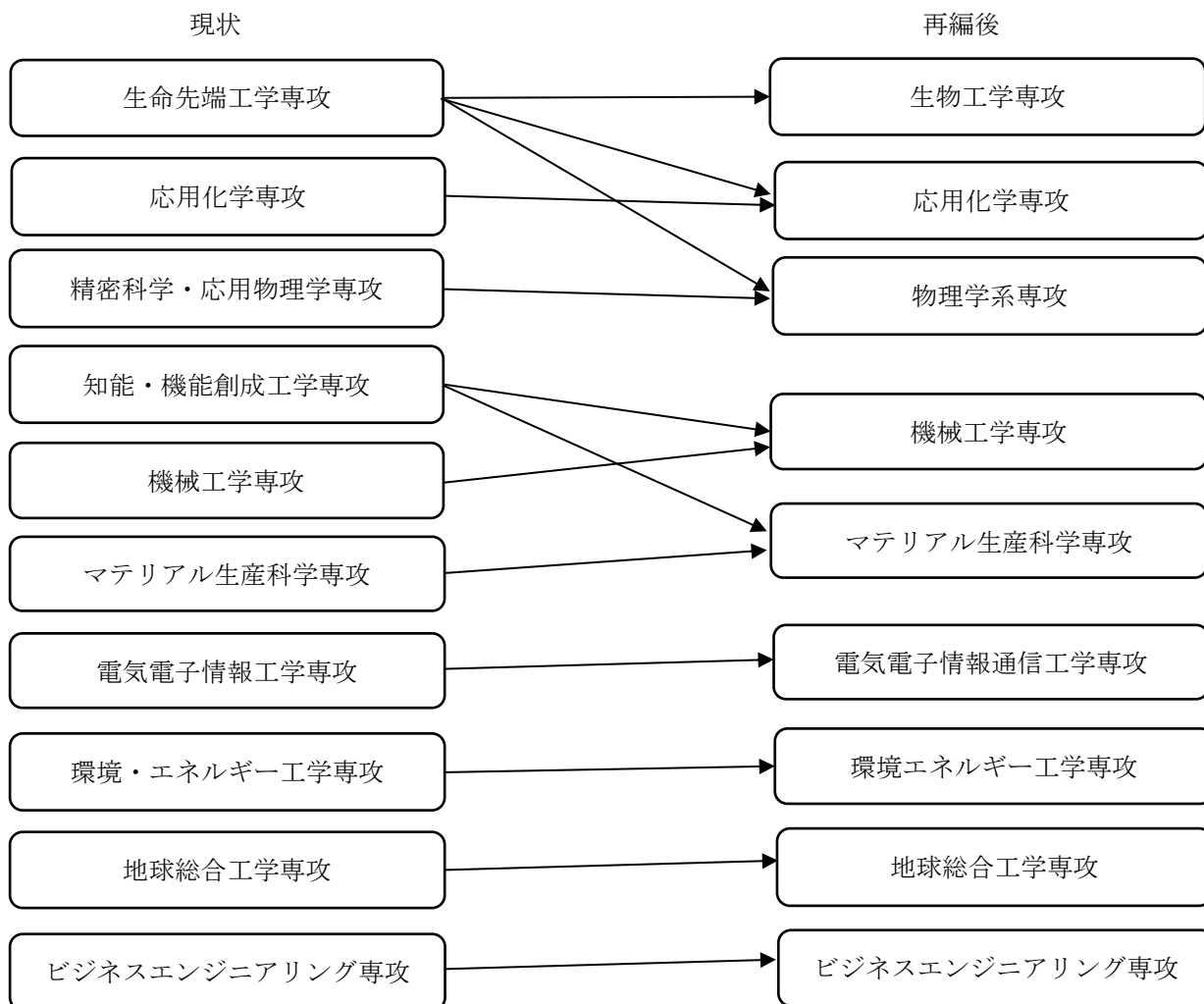
また、研究能力に特に秀でた学生を国外から受け入れるために、外国人留学生特別選抜制度、4つの英語特別コースへの入学試験を設けています。

## 【工学研究科の改組予定について】

大阪大学大学院工学研究科では、2020年4月より以下のとおり改組を予定しています。

なお、入学試験については、既存（改組前）の専攻を募集単位として実施します。生命先端工学専攻および知能・機能創成工学専攻の合格者の入学後の所属については、配属される研究室が所属する改組後の専攻となります。

（なお、改組につきましては現在認可申請中です。また、改組は予定であり、内容に変更がある場合があります。）



## 1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
生命先端工学専攻	物質生命工学コース	85
	生物工学コース	
	産学官共創コース	
応用化学専攻	分子創成化学コース	77
	物質機能化学コース	
	産学官共創コース	
精密科学・応用物理学専攻	精密科学コース	60
	応用物理学コース	
	産学官共創コース	
知能・機能創成工学専攻	知能・機能創成工学コース	32
	産学官共創コース	
機械工学専攻	機械工学コース	80
	産学官共創コース	
マテリアル生産科学専攻	マテリアル科学コース	106
	生産科学コース	
	産学官共創コース	
電気電子情報工学専攻	電気工学コース	143
	情報通信工学コース	
	電子工学コース	
環境・エネルギー工学専攻	環境工学コース	76
	エネルギー量子工学コース	
	産学官共創コース	
地球総合工学専攻	船舶海洋工学コース	98
	社会基盤工学コース	
	建築工学コース	
	産学官共創コース	
ビジネスエンジニアリング専攻	ビジネスエンジニアリングコース	33
	産学官共創コース	
合計		790

(注1) 募集人員には、別途実施される「推薦入学特別選抜」及び「学部3年次学生を対象とする特別選抜」による募集人員（若干名）も含まれます。

(注2) 産学官共創コースを志望する場合、出願前に、コースのホームページを確認し、産学官共創講座準備室に連絡を取ってください。

(注3) 精密科学・応用物理学専攻応用物理学コースの志願者は、出願前に、応用物理学コースのホームページに掲載されている詳細な注意事項を確認してください。

応用物理学コース URL : <http://www.ap.eng.osaka-u.ac.jp/graduate/index.html>

(注 4) 知能・機能創成工学専攻の志願者は、出願前に、知能・機能創成工学専攻のホームページに掲載されている詳細な注意事項を確認し、志望研究室の教員に連絡を取ってください。

知能・機能創成工学専攻 URL : <http://www.ams.eng.osaka-u.ac.jp/>

## 2. 出願専攻・コースについて

(1) 各専攻はコース単位で募集を行うので、出願書類の志望専攻・コース名欄に専攻・コース名を記入してください。

(2) 産学官共創コースの志願について

産学官共創コースの志願者は、ビジネスエンジニアリング専攻を除き、必ず産学官共創コースを第1志望とし、かつ入学後に配属を希望する研究室が所属するコースを第2志望に記入してください。産学官共創コースのみの志願は受け付けできません。

ビジネスエンジニアリング専攻の産学官共創コースに限り、第2志望とすることができます。

### 【産学官共創コースについて】

産学官共創コースとは、工学研究科と共同研究講座(※1)／協働研究所(※2)等が協力し、これまでの大学院教育に産学官共同研究活動(インターンシップ・オン・キャンパス)を取り入れ、大学院生が産学官共同研究に関わることのできるコースです。研究室は各専攻内の既存の研究室に配属となり、志望する場合は願書提出前に受入に関する事前相談(※3)をし、了承を得ておくことが必要になります。

※1 共同研究講座：外部の企業等からの出資により、大阪大学内に設置された研究室規模の研究組織。

※2 協働研究所：外部の企業等からの出資により、大阪大学内に設置された研究所規模の研究組織。

※3 事前相談の問合せ先：産学官共創講座準備室([creation@mit.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:creation@mit.eng.osaka-u.ac.jp))

(3) 第2志望・第3志望について

第1志望、第2志望及び第3志望の組合せと選択科目については表1(P.4~6)を参照し、入学願書に記入してください。

【表 1.志望専攻・コース、受験選択科目】 ※必ず「8.入学者選抜」及び「15.筆記試験科目」を参照してください。

●第1志望のみの場合の受験選択科目

志願専攻・コース		願書に記載する受験選択科目
生命先端工学専攻	物質生命工学コース	(1)～(4)のうちいずれか1つを選択し記入 (1) 数学、物理学 (2) 数学、論述問題 (3) 化学Ⅰ、化学Ⅱ (4) 生物工学Ⅰ、生物工学Ⅱ
	生物工学コース	選択自由（記入不要）
応用化学専攻	分子創成化学コース	選択自由（記入不要）
	物質機能化学コース	選択自由（記入不要）
精密科学・応用物理学専攻	精密科学コース	選択自由（記入不要）
	応用物理学コース	（記入不要）
知能・機能創成工学専攻 ※志望研究室により選択できる 科目が異なります。 <a href="http://www.ams.eng.osaka-u.ac.jp/">http://www.ams.eng.osaka-u.ac.jp/</a>	・マイクロデバイス研究室 ・運動知能研究室 ・非線形離散動力学研究室 ・共生デバイス学研究室	A 機械工学
	・高機能構造材料創成研究室 ・計算材料設計・創成研究室 ・環境調和エレクトロニクス実装研究室	B マテリアル科学
	・知能デバイス・センサデバイス創成研究室 ・熱・電磁流体解析研究室	C 生産科学と記入。さらに、(1)～(4)のうち2科目を選択し記入 (1) 金属・無機材料学 (2) 電気・電子工学 (3) 材料力学 (4) 一般物理
機械工学専攻	機械工学コース	選択自由（記入不要）
マテリアル生産科学専攻	マテリアル科学コース	選択自由（記入不要）
	生産科学コース	(1)～(4)のうち2科目を選択し記入 (1) 金属・無機材料学 (2) 電気・電子工学 (3) 材料力学 (4) 一般物理
電気電子情報工学専攻	電気工学コース	選択自由（記入不要）
	情報通信工学コース	選択自由（記入不要）
	電子工学コース	選択自由（記入不要）
環境・エネルギー工学専攻	環境工学コース	選択自由（記入不要）
	エネルギー量子工学コース	選択自由（記入不要）
地球総合工学専攻	船舶海洋工学コース	（記入不要）
	社会基盤工学コース	選択自由（記入不要）
	建築工学コース	（記入不要）
ビジネスエンジニアリング専攻	ビジネスエンジニアリングコース	基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1 科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1 科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学



●第2～3志望がある場合の選択可能専攻・コース及び受験選択科目

志願専攻・コース (第1志望)		第2志望	第3志望	願書に記載する受験選択科目	
生命先端工学専攻	物質生命工学コース	生物学コース		(4)生物学Ⅰ、生物学Ⅱ	
		精密科学・応用物理学専攻 精密科学コース		(1)数学、物理学	
		応用化学専攻分子創成化学コース 又は 物質機能化学コース		(3)化学Ⅰ、化学Ⅱ	
	生物学コース	物質生命工学コース		選択自由 (記入不要)	
	産学官共創コース	物質生命工学コース	生物学コース	生物学コース	(4)生物学Ⅰ、生物学Ⅱ
			精密科学・応用物理学専攻 精密科学コース		(1)数学、物理学
応用化学専攻分子創成化学コース 又は 物質機能化学コース				(3)化学Ⅰ、化学Ⅱ	
生物学コース	物質生命工学コース		選択自由 (記入不要)		
応用化学専攻	分子創成化学コース	物質機能化学コース	生命先端工学専攻 物質生命工学コース	選択自由 (記入不要)	
	物質機能化学コース	分子創成化学コース	生命先端工学専攻 物質生命工学コース	選択自由 (記入不要)	
	産学官共創コース	分子創成化学コース	物質機能化学コース	選択自由 (記入不要)	
		物質機能化学コース	分子創成化学コース	選択自由 (記入不要)	
精密科学・応用物理学専攻	精密科学コース	生命先端工学専攻 物質生命工学コース		選択自由 (記入不要)	
	応用物理学コース	第2志望、第3志望は希望できません。			
	産学官共創コース	精密科学コース	生命先端工学専攻 物質生命工学コース	選択自由 (記入不要)	
		応用物理学コース			
知能・機能創成工学専攻 ※志望研究室により選択できる 第2志望及び科目が異なります。  <a href="http://www.ams.eng.osaka-u.ac.jp/">http://www.ams.eng.osaka-u.ac.jp/</a>	・マイクロインテリジェンス研究室 ・運動知能研究室 ・非線形離散動力学研究室 ・共生メカニクス研究室	機械工学専攻		A 機械工学	
		マテリアル生産科学専攻 マテリアル科学コース		B マテリアル科学	
		マテリアル生産科学専攻 生産科学コース		C 生産科学と記入。さらに、(1)～(4)のうち2科目を選択し記入 (1) 金属・無機材料学 (2) 電気・電子工学 (3) 材料力学 (4) 一般物理	
	産学官共創コース	・マイクロインテリジェンス研究室 ・運動知能研究室 ・非線形離散動力学研究室 ・共生メカニクス研究室	機械工学専攻		A 機械工学
		・高機能構造材料創成研究室 ・計算材料設計・創成研究室 ・環境調和エレクトロニクス実装研究室	マテリアル生産科学専攻 マテリアル科学コース		B マテリアル科学
		・知能メカニクス・センシング 創成研究室 ・熱・電磁流体解析研究室	マテリアル生産科学専攻 生産科学コース		C 生産科学と記入。さらに、(1)～(4)のうち2科目を選択し記入 (1) 金属・無機材料学 (2) 電気・電子工学 (3) 材料力学 (4) 一般物理
機械工学専攻	機械工学コース	第2志望、第3志望は希望できません。			
マテリアル生産科学専攻	産学官共創コース	機械工学コース		選択自由 (記入不要)	
	マテリアル科学コース	生産科学コース		選択自由 (記入不要)	
		マテリアル科学コース		(1)～(4)のうち2科目を選択し記入 (1) 金属・無機材料学 (2) 電気・電子工学 (3) 材料力学 (4) 一般物理	
	生産科学コース	ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース		(1)～(4)のうち2科目を選択し記入 (1) 金属・無機材料学 (2) 電気・電子工学 (3) 材料力学 (4) 一般物理	
		マテリアル科学コース	生産科学コース	選択自由 (記入不要)	
	産学官共創コース	生産科学コース	マテリアル科学コース	(1)～(4)のうち2科目を選択し記入 (1) 金属・無機材料学 (2) 電気・電子工学 (3) 材料力学 (4) 一般物理	
ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース					
電気電子情報工学専攻	各コース	志願コース以外のコースを第2～3志望とすることができます。		選択自由 (記入不要)	
環境・エネルギー工学専攻	環境工学コース	エネルギー量子工学コース	ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース	選択自由 (記入不要)	
		ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース		選択自由 (記入不要)	
	エネルギー量子工学コース	環境工学コース	ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース	選択自由 (記入不要)	
		ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース		選択自由 (記入不要)	
	産学官共創コース	環境工学コース	エネルギー量子工学コース	環境工学コース	選択自由 (記入不要)
			ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース		選択自由 (記入不要)
エネルギー量子工学コース	環境工学コース	環境工学コース	選択自由 (記入不要)		
		ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース	選択自由 (記入不要)		

志願専攻・コース（第1志望）		第2志望	第3志望	願書に記載する受験選択科目	
地球総合工学専攻	船舶海洋工学コース	第2志望、第3志望は希望できません。			
	社会基盤工学コース	第2志望、第3志望は希望できません。			
	建築工学コース	第2志望、第3志望は希望できません。			
	産学官共創コース	船舶海洋工学コース		(記入不要)	
社会基盤工学コース			選択自由(記入不要)		
建築工学コース			(記入不要)		
ビジネスエンジニアリング専攻	産学官共創コース			基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学	
		環境・エネルギー工学専攻 環境工学コース		基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学	
		環境・エネルギー工学専攻 エネルギー量子工学コース		基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学	
		マテリアル生産科学専攻 生産科学コース		・基礎科目では(1)数学を記入 ・一般工学では(1)～(3)のいずれか1つ を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学	
	産学官共創コース	ビジネスエンジニアリングコース			基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学
			環境・エネルギー工学専攻 環境工学コース		基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学
			環境・エネルギー工学専攻 エネルギー量子工学コース		基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学
			マテリアル生産科学専攻 生産科学コース		・基礎科目では(1)数学を記入 ・一般工学では(1)～(3)のいずれか1つ を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学

### 3. 出願資格

日本国籍を有する者又は日本における在留資格が「永住者」である者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 我が国の大学又は専門職大学を卒業した者及び 2020 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
  - (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
  - (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
  - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
  - (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
  - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
  - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
  - (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
  - (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの
- (注 1) 出願資格の (9) により出願しようとする者は、事前に出願資格審査（「4.出願資格審査」参照）を申請し、出願資格審査に合格する必要があります。
- (注 2) 日本における在留資格が「永住者」又は「留学」以外であり、また入学時に在留資格を「留学」に変更しない者が出願を希望する場合は、本研究科教務課入試係（以下「入試係」という。）へ問い合わせてください。
- (注 3) 出願資格の (5)、(7)、(8) については、工学研究科ホームページの「大学院入試情報」を参照してください。

工学研究科ホームページ URL : [http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g\\_admissions.html](http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions.html)

## 4. 出願資格審査

「3. 出願資格」の(1)～(8)のいずれにも該当しない者は、事前に出願資格審査を受け、出願資格審査に合格する必要があります。該当する者は、受付期間内に次の書類を持参又は必着するように郵送してください。

※出願資格(1)～(8)に該当する者(例：大学や高等専門学校専攻科を卒業した者及び2020年3月31日までに卒業見込みの者)は、本審査は不要です。

### ① 出願資格審査申請書類

(「7. 出願書類」の注記も参照してください。)

書 類	内 容
1. 出願資格審査申請書(様式1)	所定の用紙に所要事項を記入してください。
2. 研究実績調書(様式2)	所定の用紙に所要事項を記入してください。
3. 履歴書(様式3)	所定の用紙に所要事項を記入してください。
4. 志望理由書(様式4)	所定の用紙に所要事項を記入してください。 ※環境・エネルギー工学専攻では、志望領域の申請書が必要です。詳細については、環境・エネルギー工学専攻のホームページを参照してください。( <a href="http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/exam/">http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/exam/</a> ) ※各専攻における産学官共創コースを志望する場合、志望領域の申請書が必要です。詳細については、ビジネスエンジニアリング専攻のホームページを参照してください。 ( <a href="http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/admission/index.html">http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/admission/index.html</a> )
5. 成績証明書	最終学歴の成績証明書又はこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したものを提出してください。 ※偽装防止用紙を用いた証明書を提出する場合は厳封不要 ※大学に3年次編入学した者は、編入学前に在籍していた教育機関の成績証明書も併せて提出してください。
6. 連絡受信先シール	所定の用紙に所要事項を記入してください(シールに印字されている「様」は書き換えないでください。 ※本学工学部在籍者は提出不要

### ② 受付期間： 2019年6月10日(月)～14日(金)

#### 【持参の場合】

受付時間： 9時30分～15時(ただし、11時30分～12時30分は除く。)

受付場所： 工学研究科教務課入試係(U1M棟<管理棟>1階)

(書類を封筒等に入れる必要はありません。)

#### 【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学工学研究科教務課入試係

(必ず「書留」郵便とし、封筒の表に「博士前期課程出願資格審査申請」と朱書き)

上記受付期間内に郵送により到着したものを受け付けます。

ただし、期限後に到着した場合でも2019年6月12日(水)以前の日本国内発信局消印のある「書留」郵便に限り受け付けます。

(注) 出願資格審査の結果は、2019年7月1日(月)までにお知らせしますので、届かない場合は出願期日に間に合うように入試係へ問い合わせてください。問合せがない場合は、受領したものとして取り扱います。

## 5. 出願手続

出願資格の(1)～(8)のいずれかに該当する者又は出願資格審査に合格した者が出願する場合は、次に示す要領に従って出願受付期間内に出願手続を行ってください。

### ① 提出書類

【出願資格の(1)～(8)のいずれかに該当する者】

「7. 出願書類」の1～13

【出願資格の(9)に該当する者】

「7. 出願書類」の1～2、6～9及び11～13

### ② 出願受付期間： 2019年7月8日(月)～19日(金)(ただし、土日祝は除く。)

【持参の場合】

受付時間： 9時30分～15時(ただし、11時30分～12時30分は除く。)

受付場所： 工学研究科教務課入試係(U1M棟<管理棟>1階)

(書類を封筒等に入れる必要はありません。)

【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1

大阪大学工学研究科教務課入試係

(必ず「書留」郵便とし、封筒の表に「博士前期課程入学願書」と朱書き)

上記出願受付期間内に郵送により到着したものを受け付けます。

ただし、期限後に到着した場合でも2019年7月17日(水)以前の日本国内発信局消印のある「書留」郵便に限り受け付けます。

## 6. 検定料

出願前までに30,000円を次に示す要領に従って支払ってください。

### (1) 事前準備

#### ① パソコンの確認

パソコンからインターネットを通じて検定料の納付が可能です。スマートフォン、タブレット端末、携帯電話では利用できない可能性があります。下記の動作環境を満たすパソコンをご用意ください。ご家庭にパソコンがない場合も、学校や知人等、下記の動作環境を満たすパソコンを利用できるように確認しておいてください。

#### ▼ブラウザのバージョン

それぞれお使いの環境に合わせた最新バージョンをご使用ください。

[Windows] Internet Explorer11、Google Chrome、Mozilla Firefox、Microsoft Edge

[Mac] Safari、Google Chrome、Mozilla Firefox

#### ▼ブラウザの設定

JavaScriptを有効にする。

Cookieを有効にする。

#### ▼その他必要なソフトウェア条件

検定料収納証明書をPDFのフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader 11.0以上をお勧めします。PDFファイルを閲覧するには、他のPDF閲覧プログラムでも可能ですが、互換性

において、Adobe Reader 11.0 以上をお勧めします。  
※画面サイズは 1024 ピクセル以上推奨です。

## ②印刷できる環境の確認

検定料収納証明書の PDF ファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。

ご家庭にプリンターがない場合も、学校や知人、コンビニエンスストア等印刷できる環境を確認しておいてください。

## ③メールアドレスの準備

登録するメールアドレスは、検定料納付システムログイン時の ID として利用するだけでなく、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されます。受験終了まで変更や削除の可能性がなく、日常的に確認しやすいメールアドレスを登録してください。

また、ドメイン指定受信をしている場合は「@comappjapan.com」からのメールを受信できるようにあらかじめ設定してください。

## ④検定料決済方法の確認

クレジットカード、銀聯カード、コンビニエンスストア、Pay-easy 利用の銀行決済が利用できます。

どの決済方法も対象金融機関、金額、手続きに制限や注意事項がありますので、事前に決済方法を確認してください。

## ⑤出願書類の準備

出願書類は発行に時間がかかる場合がありますので、早めに準備をしておいてください。

## (2) 検定料納付システムへの登録

検定料納付システムは以下の URL へアクセスしてください。

【URL】 <https://osaka-u-afp.comappjapan.com/>

### ①ユーザー登録

ID (メールアドレス) とパスワードを登録し、ユーザー登録をしてください。

ID (メールアドレス) を登録すると、パスワード発行用の URL を記載したメールが送付されますので、パスワードを設定してください。

### ②基本情報の登録

画面の案内に沿って、志願者個人情報を登録してください。

### ③出願情報の登録

画面の案内に沿って、出願先及び入試種別の選択をしてください。

### ④出願内容の確認

登録した内容を確認してください。内容を修正する場合は、「修正」ボタンを押して修正してください。

### < 注意 >

次の「検定料の納入」が完了すると、「②基本情報の登録」及び「③出願情報の登録」で登録した内容を変更することができなくなります。「検定料の納入」へ進む前に、必ず入力内容に誤りがないことを確認してください。

### (3) 検定料の納入

#### ①検定料 30,000 円

※検定料納入時にシステム手数料（600 円）が別途かかります。

#### ②納入方法の選択

画面の案内に沿って、納入金額を確認の上、決済方法を選択します。

利用可能なクレジットカード会社は、VISA または Master となります。銀聯カードの利用も可能です。コンビニエンスストア、Pay-easy 利用の銀行決済を選択した場合、登録したメールアドレスに決済に必要な番号が送信されます。取扱可能な金融機関や注意事項は次のとおりです。

納入方法／取扱金融機関	納入期限	その他
クレジットカード ・ VISA ・ Master ・ 銀聯カード	2019 年 7 月 1 日（月）10 時～ 2019 年 7 月 19 日（金）15 時	受験生本人の名義でなくても構いません。
コンビニエンスストア ・ ローソン ・ ファミリーマート ・ デイリーヤマザキ ・ ヤマザキデイリーストア ・ ミニストップ ・ セイコーマート		日本国内在住者に限ります。
Pay-easy 利用の銀行決済 対象金融機関（※）		受験生本人の名義でなくても構いません。 日本国内在住者に限ります。

※対象金融機関は以下サイトでご確認ください。

<https://www.veritrans.co.jp/payment/bank/list.html>

#### < 注意 >

検定料納付システム利用期間は 7 月 19 日（金）15 時締め切りです。出願にはこの日時までに検定料の納入を済ませた上で、出願書類を提出する必要があります。

検定料納入後の提出にかかる時間を踏まえた上で、早めに納入を行うようご注意ください。

#### ○決済方法の変更について

納入完了前の場合、支払方法を変更することができます。

[検定料納付システムにログイン] ⇒ [トップ画面] ⇒ [出願履歴] ⇒ [再開] ⇒ [支払い方法の変更] から変更を行ってください。Pay-easy 利用の銀行決済をキャンセルした場合、古い決済番号では絶対に決済しないでください。

#### ○検定料の返還について

納入された検定料は次の場合を除き返還しません。

- 出願書類を提出しなかった場合、又は受理されなかった場合
- 検定料を誤って二重に納入した場合

※検定料返還請求方法について

返還対象となる志願者には、検定料納付システムログイン時の ID として登録しているメールアドレス宛に、返還手続の案内を送付しますので、返還手続を行ってください。

### ③納入

選択した決済方法により次のとおり納入手続を行ってください。納入が完了しないと、次の「検定料収納証明書の印刷」を行うことができません。

- ・クレジットカード : 本システム上でカード番号等を入力して納入
- ・銀聯カード : 本システムから銀聯カード決済の WEB サイトに遷移して納入
- ・コンビニエンスストア : 対象店舗にて納入
- ・Pay-easy 利用の銀行決済 : 対象金融機関またはインターネットバンキングにて納入

### (4) 検定料収納証明書の印刷

決済が終わったことがシステム上で確認されると、検定料収納証明書の PDF ファイルがダウンロードできるようになるので、A4 サイズで印刷してください。この検定料収納証明書は、出願書類の一つです。出願手続きを完了するまで大切に保管してください。



## 7. 出願書類

書 類	内 容
1. 入学願書	所定の用紙に所要事項を記入してください。
2. 検定料納入証明書	検定料納付証明書の PDF ファイルを A4 サイズで印刷して提出してください。
3. 履歴書（様式 3）	所定の用紙に所要事項を記入してください。
4. 志望理由書（様式 4）	所定の用紙に所要事項を記入してください。 ※環境・エネルギー工学専攻では、志望領域の申請書が必要です。詳細については、環境・エネルギー工学専攻のホームページ（ <a href="http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/exam/">http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/exam/</a> ）を参照してください。 ※各専攻における産学官共創コースでは、志望領域の申請書が必要です。詳細については、ビジネスエンジニアリング専攻のホームページ（ <a href="http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/admission/index.html">http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/admission/index.html</a> ）を参照してください。
5. 成績証明書	最終学歴の成績証明書又はこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したものを提出してください。また、高等専門学校出身者は本科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。大学に 3 年次編入学した者は、編入学前に在籍していた教育機関の成績証明書も併せて提出してください。ただし、本学工学部に 3 年次編入学し、現在在籍している場合は本学の成績証明書のみ提出してください。 ※偽装防止用紙を用いた証明書を提出する場合は厳封不要
6. 卒業（見込）／退学証明書	出身大学長又は学部長の発行した卒業（見込）証明書を提出してください。最終出身学校を退学した場合、退学証明書及び直前の出身学校の卒業証明書を提出してください。
7. 学士の学位証明書	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。なお、大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、在籍する教育機関の長の学位授与申請予定証明書を提出してください。 ※出願資格（2）以外の者は提出不要
8. 在留カード（両面）の写し	日本国籍を有しない外国人志願者は、在留資格、在留期間及び現住所が記載された在留カードの両面を A4 サイズの用紙にコピーして提出してください。※日本人は提出不要
9. 英語能力証明書 (TOEIC 公式認定証、TOEFL 受験者用控えスコア票又は IELTS 成績証明書)	表 2 に示す各専攻・コースが指定する英語能力証明書（TOEIC 公式認定証、TOEFL 受験者用控えスコア票<Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report>、又は IELTS 成績証明書のいずれか 1 つ）の原本とその写し（A4・白黒可）を提出してください。原本と写しを照合後、原本は返却します（持参：その場で返却。郵送：受験票送付時に併せて送付）。原本のみを提出した場合は返却しません。 いずれの試験とも原則として 2017 年 8 月 1 日から 2019 年 5 月 31 日までに受験した公開テストを有効としますので、出願期間までに必ず間に合うように計画的に受験してください。（ただし、2019 年 6 月 1 日以降に受験したものであっても出願期間中に原本を提出できる場合に限り受け付けます。）
10. 連絡受信先シール	所定の用紙に所要事項を記入してください。（シールに印字されている「様」は書き換えないでください。以下同じ。）※本学工学部在籍者は提出不要
11. 受験票・写真票	所定の用紙に写真（3 か月以内に撮影）を貼付し、所要事項を記入してください。
12. 受験票送付用封筒	所定の封筒に受験者本人の郵便番号、住所及び氏名を明記し、 <u>92 円分の切手</u> を貼付してください。
13. 可否結果送付用封筒	所定の封筒に受験者本人の郵便番号、住所及び氏名を明記し、 <u>392 円分の切手</u> を貼付してください。

（注 1）記入が必要な書類は全て黒のペン又はボールペン（消せるボールペンは使用不可）で記入してください。

（注 2）出願書類に不備がある場合は、受理できません。

（注 3）出願手続後は、記載事項の変更を認めません。

（注 4）入学願書等に記載する氏名と証明書に記載された氏名が改姓名等により異なる場合は、改姓名の事実を証明できる書類（戸籍抄本等）を添付してください。

（注 5）「提出不要」と明記しているものを除き、該当する書類は全て提出する必要があります。

（注 6）「返却します」と明記しているものを除き、提出された書類は一切返却しません。

（注 7）受験票は、出願手続後受験票送付用封筒にて郵送します。なお、日本国外に居住している者へは、志望専攻・コースから配付します。2019 年 8 月 5 日（月）までに届かない場合は、入試係へ問い合わせてください。

【表 2. 英語能力証明書、専攻・コース別指定】各専攻・コースにおいて✓を付した証明書を受理する。

専攻	コース	TOEIC L&R※1	TOEIC S&W※1	TOEFL※2	IELTS
生命先端工学	物質生命工学	✓		✓	
	生物工学	✓		✓	
	産学官共創	✓		✓	
応用化学	分子創成化学	✓		✓	✓
	物質機能化学	✓		✓	✓
	産学官共創	✓		✓	✓
精密科学・応用物理学	精密科学	✓		✓	✓
	応用物理学※3	✓		✓	✓
	産学官共創	✓		✓	✓
知能・機能創成工学	知能・機能創成工学	✓		✓	
	産学官共創	✓		✓	
機械工学	機械工学	✓		✓	
	産学官共創	✓		✓	
マテリアル生産科学	マテリアル科学	✓		✓	
	生産科学	✓		✓	
	産学官共創	✓		✓	
電気電子情報工学	電気工学	✓		✓	
	情報通信工学	✓		✓	
	電子工学	✓		✓	
環境・エネルギー工学	環境工学	✓		✓	
	エネルギー量子工学	✓		✓	
	産学官共創	✓		✓	
地球総合工学	船舶海洋工学	✓※4	✓※4	✓	✓
	社会基盤工学	✓		✓	✓
	建築工学	✓			
	産学官共創	第2志望のコースにおいて✓を付した証明書			
ビジネスエンジニアリング	ビジネスエンジニアリング	✓		✓	✓
	産学官共創	✓		✓	✓

【注意事項】

以下の英語試験の成績証明書は受理しません。

TOEIC：TOEIC-IP（団体特別受験制度で受験したもの）、TOEIC® Speaking Test、TOEIC Bridge® Test

TOEFL：TOEFL-ITP（団体特別受験制度で受験したもの）

IELTS：General Training Module

※1 TOEIC L&R は TOEIC® Listening & Reading Test、TOEIC S&W は TOEIC® Speaking & Writing Test を示します。

※2 TOEFL は公式スコア票（Official Score Report）ではなく、受験者用控えスコア票（Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report）を提出してください。ただし、受験者用控えスコア票が発行されない国・地域で TOEFL を受験し、そのスコアを利用する場合は、出願期間の 6 週間前までに入試係へ問い合わせてください。

**【注意事項】**

- ※3 精密科学・応用物理学専攻応用物理学コースの志願者及び当コースを第2志望とする精密科学・応用物理学専攻産学官共創コースの志願者で、最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等である者については、英語能力証明書の提出が不要となる場合があります。該当すると思われる志願者は、必ず出願前に問い合わせてください。
- ※4 地球総合工学専攻船舶海洋工学コースの志願者及び当コースを第2志望とする地球総合工学専攻産学官共創コースの志願者においては、TOEICを選択する場合はTOEIC® Listening & Reading Test及びTOEIC® Speaking & Writing Testの両方の公式認定証が必要となります。いずれか一方の公式認定証のみでは受理しませんので、ご注意ください。

## 8. 入学者選抜

入学者選抜は、次に示す学力試験（筆記試験及び口頭試問）の成績及び出願書類の選考結果を総合して行います。

専攻	コース等	実施日	試験時間	学力試験等
生命先端工学	物質生命工学	8月20日（火）	10:00～11:30	専門科目（生物工学Ⅰ）：生物系
			9:30～11:00	専門科目（数学）：応物系
			10:00～12:00	専門科目（数学）：精密系
			11:30～12:30	専門科目（論述問題）：応物系
			13:00～16:00	専門科目（生物工学Ⅱ）：生物系
				専門科目（物理学）：精密系
			15:30～18:00	専門科目（化学Ⅰ）：化学系
	8月21日（水）	10:00～12:00	専門科目（化学Ⅱ）：化学系	
	8月22日（木）	10:00～12:00	口頭試問	
	生物工学	8月20日（火）	10:00～11:30	専門科目（生物工学Ⅰ）
13:00～16:00			専門科目（生物工学Ⅱ）	
8月21日（水）			13:00～17:00	口頭試問
産学官共創	第2志望のコースの実施日・試験時間・学力試験等で行います。			
応用化学	分子創成化学 物質機能化学 産学官共創	8月20日（火）	14:00～15:00	外国語（専門英語）
			15:30～18:00	専門科目（化学Ⅰ）
		8月21日（水）	10:00～12:00	専門科目（化学Ⅱ）
		8月22日（木）	13:00～	口頭試問
精密科学・ 応用物理学	精密科学	8月20日（火）	10:00～12:00	専門科目（数学）
			13:00～16:00	専門科目（物理学）
		8月22日（木）	13:30～	口頭試問
	応用物理学	8月20日（火）	9:30～11:00	数学
			11:30～12:30	論述問題
		8月21日（水）	13:30～	口頭試問
産学官共創	第2志望のコースの実施日・試験時間・学力試験等で行います。			
知能・機能創成工学 （知能・機能創成工学コース、 産学官共創コース共通の内容）	A 機械工学	8月20日（火）	9:30～11:00	力学
			12:30～15:30	専門科目
		8月21日（水）	9:30～11:30	数学
	8月23日（金）	14:00～	口頭試問	
	B マテリアル科学	8月20日（火）	9:00～9:30	ガイダンス
			9:30～11:30	数学
			11:40～12:30	入学試験調書など説明・記入・提出
		8月21日（水）	9:30～12:30	専門科目
8月22日（木）		10:00～	口頭試問	

専攻	コース等	実施日	試験時間	学力試験等	
知能・機能創成工学 (知能・機能創成工学コース、産学官共創コース共通の内容)	C 生産科学	8月20日(火)	9:30～11:30	数学	
		8月21日(水)	9:30～12:30	専門科目	
		8月22日(木)	13:00～	口頭試問	
機械工学	機械工学 産学官共創	8月20日(火)	9:30～11:00	力学	
			12:30～15:30	専門科目	
		8月21日(水)	9:30～11:30	数学	
		8月23日(金)	14:00～	口頭試問	
マテリアル 生産科学	マテリアル科学	8月20日(火)	9:00～ 9:30	ガイダンス	
			9:30～11:30	数学	
			11:40～12:30	入学試験調書など説明・記入・提出	
			8月21日(水)	9:30～12:30	専門科目
			8月22日(木)	10:00～	口頭試問
	生産科学	8月20日(火)	9:30～11:30	数学	
			8月21日(水)	9:30～12:30	専門科目
8月22日(木)			13:00～	口頭試問	
	産学官共創	第2志望のコースの実施日・試験時間・学力試験等で行います。			
電気電子 情報工学	電気工学 情報通信工学 電子工学	8月20日(火)	9:30～12:30	基礎科目	
			14:00～16:00	専門科目	
		8月22日(木)	9:00～	口頭試問	
環境・ エネルギー工学	環境工学	8月20日(火)	10:00～11:30	小論文	
		8月21日(水)	13:00～15:30	基礎科目・専門科目	
		8月22日(木)	9:00～	口頭試問	
	エネルギー量子 工学	8月21日(水)	13:00～15:30	基礎科目	
		8月22日(木)	9:00～	口頭試問	
	産学官共創	第2志望のコースの実施日・試験時間・学力試験等で行います。			
地球総合工学	船舶海洋工学	8月20日(火)	9:30～11:30	数学	
			13:00～15:00	力学	
		8月21日(水)	9:30～11:30	材料力学	
	13:00～15:00		流体力学		
	8月22日(木)	13:00～	口頭試問		
	社会基盤工学	8月20日(火)	10:00～10:30	ガイダンス	
10:30～12:00			数学		
13:30～16:00			専門科目		
8月21日(水)	13:30～	口頭試問			

専攻	コース等	実施日	試験時間	学力試験等
地球総合工学	建築工学	8月20日(火)	10:00～12:00	構造力学
			13:00～15:00	建築構造学
			15:30～17:30	建築計画学
		8月21日(水)	10:00～12:00	建築環境工学
			13:00～17:00	建築設計製図
	8月22日(木)	9:00～12:30	口頭試問	
産学官共創	第2志望のコースの実施日・試験時間・学力試験等で行います。			
ビジネスエンジニアリング	ビジネスエンジニアリング 産学官共創	8月20日(火)	9:30～11:30	基礎科目(数学)
			13:00～14:30	小論文
		8月21日(水)	9:30～11:00	一般工学
			13:00～14:30	基礎科目
		8月22日(木)	9:30～12:30	口頭試問

(注1) 「15.筆記試験科目」を必ず参照してください。

(注2) 生命先端工学専攻生物工学コースでは、試験問題の英語版について対応可能なため、希望される方は出願前に、「12. 過去問題、試験内容、研究内容等に関する問合せ先(各専攻連絡先)」記載の連絡先まで事前に連絡してください。

(注3) 知能・機能創成工学専攻のA～Cは受験選択科目を示します。

(注4) 試験時間割表及び試験場所等の詳細な注意事項は、2019年8月7日(水)午後から工学研究科ホームページ( [http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g\\_admissions.html](http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions.html) ) の大学院入試情報に掲載しますので、各自確認してください。

## 9. 合格者発表

合格者発表は、以下の日時に工学研究科ホームページ( [http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g\\_admissions.html](http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions.html) ) の大学院入試情報において行います。また合格者発表後、合否結果を郵送します。  
なお、電話又はメールによる合否の問合せには一切応じません。

**合格者発表日時： 2019年8月30日(金) 14時**

※発表後約30分間は、回線が混み合い接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。

## 10. 入試成績の開示について

### (1) 開示の概要

博士前期課程一般入試における受験者の個人成績については、以下のとおり開示します。

- ①筆記試験( TOEIC 等の成績を含む ) 及び口頭試問\*の得点の総合点( \*口頭試問が「合否」で評価される場合は総合点に算入しません。 )
- ②第1志望の専攻又はコースにおける合格者の総得点の最高点・最低点

(注) 試験区分単位の合格者数が少人数の場合は、②は開示しません。また、精密科学・応用物理学専攻応用物理学コースの受験者で、TOEIC、TOEFL 又は IELTS の提出が不要になった者についても、②は開示しません。

(2) 開示請求の方法

① 申込必要書類

書 類	内 容
入試成績開示請求書 (様式 5)	所定の用紙に所要事項を記入してください。様式は 2019 年 8 月 30 日 (金) 14 時以降にホームページに掲載します。
受験票	※ <u>受験票を紛失した場合は、成績開示はできません。</u>
返信用封筒 ※持参の場合も必要です。	定形 (長形 3 号) 封筒に送付先 (受験者本人の住所 (郵便番号)・氏名) を明記し、 <u>402 円分の郵便切手を貼付してください。</u>

② 受付期間： 2019 年 9 月 2 日 (月) ～13 日 (金)

【持参の場合】

受付時間： 9 時 30 分～15 時 (ただし、11 時 30 分～12 時 30 分は除く。)

受付場所： 工学研究科 U1M 棟 (管理棟) 1 階、教務課入試係

【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

大阪大学工学研究科教務課入試係

(封筒の表に「成績開示請求」と朱書き)

上記受付期間内に郵送により到着したものを受け付けます。

ただし、期限後に到着した場合でも 2019 年 9 月 11 日 (水) 以前の日本国内発信局消印のあるものに限り受け付けます。

(注 1) 開示書類は 2019 年 9 月末に送付します。2019 年 10 月 7 日 (月) までに届かない場合は、入試係へ問い合わせてください。

(注 2) 受付期間を過ぎた後の申込は、一切受け付けません。

## 11. 入学料及び授業料・入学手続

(1) 入学料： 282,000 円

(2) 授業料： 年額 535,800 円 [半期 267,900 円]

(3) 入学手続期間は、2020 年 3 月中旬を予定しています。なお、入学手続書類は、2020 年 2 月中旬以降に発送予定です。

(注 1) 入学料及び授業料の納入時期等の詳細は、入学手続書類でお知らせします。

(注 2) 入学料及び授業料の金額は改定する場合があります。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

## 12. 過去問題、試験内容、研究内容等に関する問合せ先（各専攻連絡先）

専攻	コース	電話番号	E-mail/URL
生命先端工学	物質生命工学	06-6879-7937	E-mail: office@mls.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mls.eng.osaka-u.ac.jp/
	生物工学	06-6879-7449	E-mail: jimu@bio.eng.osaka-u.ac.jp http://www.bio.eng.osaka-u.ac.jp/
応用化学	分子創成化学	06-6879-7377	E-mail: chemoff@chem.eng.osaka-u.ac.jp http://www.chem.eng.osaka-u.ac.jp/appl/
	物質機能化学		
精密科学・応用物理学	精密科学	06-6879-7300	E-mail: prec-office@prec.eng.osaka-u.ac.jp http://www.prec.eng.osaka-u.ac.jp/
	応用物理学	06-6879-7861	E-mail: www-apadm@ap.eng.osaka-u.ac.jp http://www.ap.eng.osaka-u.ac.jp/graduate/
知能・機能創成工学	知能・機能創成工学	06-6879-7540	E-mail: office@ams.eng.osaka-u.ac.jp http://www.ams.eng.osaka-u.ac.jp/
機械工学	機械工学	06-6879-4486	E-mail: mechjimushitsu@mech.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mech.eng.osaka-u.ac.jp/
マテリアル生産科学	マテリアル科学	06-6879-7508	E-mail: mat-jim@mat.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mat.eng.osaka-u.ac.jp/
	生産科学	06-6879-7569	E-mail: pseoffa@mapse.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp/
電気電子情報工学	電気工学	06-6879-7719	E-mail: in-nyuushi@eei.eng.osaka-u.ac.jp http://www.eei.eng.osaka-u.ac.jp/
	情報通信工学		
	電子工学		
環境・エネルギー工学	環境工学	06-6879-7682	E-mail: env_administrator@see.eng.osaka-u.ac.jp http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/
	エネルギー量子工学		E-mail: erg_administrator@see.eng.osaka-u.ac.jp http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/
地球総合工学	船舶海洋工学	06-6879-7595	E-mail: naoe-jimu@naoe.eng.osaka-u.ac.jp http://www.naoe.eng.osaka-u.ac.jp/
	社会基盤工学	06-6879-7628	E-mail: civil-jimu@civil.eng.osaka-u.ac.jp http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/
	建築工学	06-6879-4220	E-mail: kyomu@arch.eng.osaka-u.ac.jp http://www.arch.eng.osaka-u.ac.jp/
ビジネスエンジニアリング	ビジネスエンジニアリング	06-6879-4075	E-mail: be_admission@mit.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/

(注) 産学官共創コースの試験内容は、第 2 志望のコースと同じです。詳細は、産学官共創講座準備室（E-mail: [creation@mit.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:creation@mit.eng.osaka-u.ac.jp)）までお問い合わせください。



## 13. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」、「入学手続」及び入学後に履修可能な教育プログラム等の業務を行うために利用します。また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うことにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

## 14. 注意事項

- (1) 入学願書の履歴、入学資格につき虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (2) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、原則として 2019 年 7 月 12 日（金）までに入試係へ問い合わせてください。
- (3) 試験当日、自動車・バイクでの入構はできません。電車・バスを利用してください。
- (4) 出願資格審査又は出願に際して不明な点があれば、入試係へ問い合わせてください。

## 15. 筆記試験科目

(注) 必ず「12.過去問題、試験内容、研究内容等に関する問合せ先」記載のホームページを参照してください。

産学官共創コースの試験科目は、第2志望のコースと同じ試験科目となります。

専攻	コース	試験科目		
生命先端工学	物質生命工学	専門科目	(1) ~ (4) の内 1 科目選択し、 <u>入学願書に記入</u> (1) 数学、物理学 (2) 数学、論述問題 (3) 化学Ⅰ、化学Ⅱ <sup>※1</sup> (4) 生物工学Ⅰ、生物工学Ⅱ ※1 (3) 化学Ⅰ、化学Ⅱを選択した場合、計算機は必要に応じて貸与 各科目については、下記専攻、コースの試験科目を参照 (1) 精密科学・応用物理学専攻 精密科学コース (2) 精密科学・応用物理学専攻 応用物理学コース (3) 応用化学専攻 (4) 生物工学コース	
	生物工学	専門科目	(1) 及び (2) の [ ] 内を試験時に選択 (願書に記入不要) (1) 生物工学Ⅰ [基礎生物化学、生物化学工学 <sup>※2</sup> ] 1 科目選択 (2) 生物工学Ⅱ [生物化学、微生物学、分子細胞生物学] 2 科目選択 ※2 本学工学部応用自然科学科応用生物工学科目応用生物工学コース在籍生、又は同コース卒業生は必修 ※3 生物工学コースでは試験問題の英語版について対応可能なため、希望される方は出願前に「12. 過去問題、試験内容、研究内容等に関する問合せ先 (各専攻連絡先)」記載の連絡先まで事前にご連絡ください。	
			産学官共創	第2志望のコースと同じ試験科目
			産学官共創	第2志望のコースと同じ試験科目
応用化学	分子創成化学	外国語	専門英語	
	物質機能化学 産学官共創	専門科目	(1) 化学Ⅰ (必修) (2) 化学Ⅱ (試験時に問題を選択 (願書に記入不要)) ※計算機は必要に応じて貸与	
精密科学・ 応用物理学	精密科学	専門科目	(1) 数学  (2) 物理学 (力学、熱・統計力学、量子力学、電磁気学) から 3 科目選択 (連続体力学、光学、固体物性) から 1 科目選択 以上 ( ) 内を試験時に選択 (願書に記入不要)	
			数学	線形代数、解析学など大学基礎レベル
	応用物理学	論述問題	論理的思考力や解析力を問う内容	
	産学官共創	第2志望のコースと同じ試験科目		

専攻	試験科目			
知能・機能 創成工学	下記 A～C の内 1 つ選択し、 <u>入学願書に記入</u> (C を選択した場合は、 <u>専門科目の選択科目も入学願書に記入</u> ) ※志望する研究室により選択科目が決められていますので P.4～5 を参照してください。			
	A 機械工学	力学	質点の力学、質点系の力学、剛体の力学	
		数学	線形代数、微積分、微分方程式、複素関数論、ベクトル解析、フーリエ解析、確率・統計	
		専門科目	(1)～(5)の内 3 科目を試験時に選択	
			(1) 材料力学	引張・圧縮、熱応力、ねじり、はりの曲げ・たわみ、座屈、薄肉円筒・球殻、不静定問題、組合せ応力
			(2) 熱工学	熱力学第 1 および第 2 法則、熱力学の一般関係式、理想気体、蒸気および湿り空気、気体の流動、ガスサイクル、蒸気サイクル、対流熱伝達、熱伝導
			(3) 流体力学	静止流体の力学、連続の式・ベルヌーイの式・運動量の法則、次元解析と相似則、管路内の流れ、境界層、理想流体の流れ、ナビエ・ストークス式
	(4) 制御工学		伝達関数および状態方程式、システムのモデリングと表現、システムの応答・構造・安定性の解析、位相進み・遅れ補償、状態フィードバック、オブザーバ	
	(5) 機械力学	多自由度系の振動、強制振動、防振・吸振・振動絶縁、回転機械の力学、解析力学		
	B マテリアル科学	数学	線形代数、微分・積分、フーリエ解析、複素関数、微分方程式、確率・統計	
		専門科目	(1)～(7)の内 5 科目を試験時に選択	
			(1) 熱力学	(熱容量、自由エネルギー、相平衡など)
			(2) 材料組織学	(状態図、相変態、回復と再結晶など)
			(3) 材料強度学	(結晶構造解析、転位を含む各種格子欠陥、降伏と変形など)
			(4) 材料の力学	(応力とひずみ、一般化されたフックの法則、はりの変形、熱応力など)
			(5) 固体物性論	(格子振動、波動方程式、バンド構造、原子模型など)
			(6) 化学反応論	(化学反応、反応速度、電気化学など)
	(7) 輸送現象論	(流動、熱移動、物質移動、拡散など)		
※ 筆記用具以外の携帯品 携帯用計算用具 (プログラム機能等を有しない電池式電卓) を専門科目で使用可				
C 生産科学	数学	線形代数、微分・積分、フーリエ解析、複素関数、微分方程式、確率・統計		
	専門科目	(1)～(4)の内 2 科目を選択し、 <u>入学願書に記入</u>		
		(1) 金属・無機材料学	(材料熱力学、材料物理学、金属組織学、金属材料学、無機材料学など)	
		(2) 電気・電子工学	(直流・交流回路、過渡現象、半導体工学、論理回路、電子回路など)	
		(3) 材料力学	(応力とひずみ、一般化されたフックの法則、はりの変形、円筒、熱応力など)	
(4) 一般物理	(力学、電磁気学、振動と波動、光学、熱力学など)			

上記は知能・機能創成工学コース、産学官共創コース共通の試験科目です。

専攻	コース	試験科目		
機械工学	機械工学 産学官共創	力学	質点の力学、質点系の力学、剛体の力学	
		数学	線形代数、微積分、微分方程式、複素関数論、ベクトル解析、フーリエ解析、確率・統計	
		専門科目	(1)～(5)の内 3 科目を試験時に選択 (願書に記入不要)	
			(1) 材料力学	引張・圧縮、熱応力、ねじり、はりの曲げ・たわみ、座屈、薄肉円筒・球殻、不静定問題、組合せ応力
			(2) 熱工学	熱力学第 1 および第 2 法則、熱力学の一般関係式、理想気体、蒸気および湿り空気、気体の流動、ガスサイクル、蒸気サイクル、対流熱伝達、熱伝導
			(3) 流体力学	静止流体の力学、連続の式・ベルヌーイの式・運動量の法則、次元解析と相似則、管路内の流れ、境界層、理想流体の流れ、ナビエ・ストークス式
			(4) 制御工学	伝達関数および状態方程式、システムのモデリングと表現、システムの応答・構造・安定性の解析、位相進み・遅れ補償、状態フィードバック、オブザーバ
(5) 機械力学	多自由度系の振動、強制振動、防振・吸振・振動絶縁、回転機械の力学、解析力学			
マテリアル 生産科学	マテリアル 科学	数学	線形代数、微分・積分、フーリエ解析、複素関数、微分方程式、確率・統計	
		専門科目	(1)～(7)の内 5 科目を試験時に選択 (願書に記入不要)	
			(1) 熱力学	(熱容量、自由エネルギー、相平衡など)
			(2) 材料組織学	(状態図、相変態、回復と再結晶など)
			(3) 材料強度学	(結晶構造解析、転位を含む各種格子欠陥、降伏と変形など)
			(4) 材料の力学	(応力とひずみ、一般化されたフックの法則、はりの変形、熱応力など)
			(5) 固体物性論	(格子振動、波動方程式、バンド構造、原子模型など)
			(6) 化学反応論	(化学反応、反応速度、電気化学など)
	(7) 輸送現象論	(流動、熱移動、物質移動、拡散など)		
	※ 筆記用具以外の携帯品 携帯用計算用具 (プログラム機能等を有しない電池式電卓)			
生産科学	数学	線形代数、微分・積分、フーリエ解析、複素関数、微分方程式、確率・統計		
	専門科目	(1)～(4)の内 2 科目を選択し、 <u>入学願書</u> に記入		
		(1) 金属・無機材料学	(材料熱力学、材料物理学、金属組織学、金属材料学、無機材料学など)	
		(2) 電気・電子工学	(直流・交流回路、過渡現象、半導体工学、論理回路、電子回路など)	
		(3) 材料力学	(応力とひずみ、一般化されたフックの法則、はりの変形、円筒、熱応力など)	
(4) 一般物理	(力学、電磁気学、振動と波動、光学、熱力学など)			
産学官共創	第 2 志望のコースと同じ試験科目			

専攻	コース	試験科目		
電気電子 情報工学	電気工学	基礎科目	(1) の ( ) 内から 3 題、(2) 及び (3) の ( ) 内から 2 題、合計 5 題を試験時に選択 (願書に記入不要)	
			(1) 数学	(微積分、線形代数、微分方程式、複素関数論、フーリエ解析、ラプラス変換、確率・統計) から 5 題出題
			(2) 電磁理論	(静電界、静磁界、時間的に変化する電磁界の基礎、電磁界中の荷電粒子の運動) から 2 題出題
			(3) 電気電子回路	(線形回路の定常解析、線形回路の過渡解析、回路理論の諸定理、電子回路の基礎 (増幅回路、フィルタ回路)) から 2 題出題
		(注意) (2) 電磁理論及び (3) 電気電子回路から合計で 2 題選択		
		専門科目	(1) ~ (5) の内 2 科目以上 3 題を試験時に選択 (願書に記入不要)	
	(1) 制御工学 (1 題出題)			
	(2) パワーエレクトロニクスと電気機器 (1 題出題)			
	(3) 信号処理 (1 題出題)			
	(4) 電磁気工学		(プラズマ中の電磁波・静電波、プラズマの生成・拡散) から 2 題出題	
	(5) 量子電子物性	(量子論基礎、金属、半導体物性、誘電体・磁性体、半導体デバイス) から 4 題出題		
	情報通信 工学	基礎科目	(1) ~ (3) の ( ) 内から 5 題を試験時に選択 (願書に記入不要)	
(1) 数学			(微積分、線形代数、微分方程式、複素関数論、フーリエ解析、ラプラス変換、確率・統計) から 5 題出題	
(2) 電磁理論			(静電界、静磁界、時間的に変化する電磁界の基礎、電磁界中の荷電粒子の運動) から 2 題出題	
(3) 電気電子回路			(線形回路の定常解析、線形回路の過渡解析、回路理論の諸定理、電子回路の基礎 (増幅回路、フィルタ回路)) から 2 題出題	
専門科目		(1) ~ (8) の内 3 題を試験時に選択 (願書に記入不要)		
		(1) 通信方式 (1 題出題) (5) 信号処理 (1 題出題) (2) 通信ネットワーク (1 題出題) (6) 論理回路と計算機システム (1 題出題) (3) 光・電波工学 (1 題出題) (7) データ構造とアルゴリズム (1 題出題) (4) 情報理論 (1 題出題) (8) 情報セキュリティ (1 題出題)		
電子工学	基礎科目	(1) の ( ) 内から 3 題、(2) 及び (3) の ( ) 内から 2 題、合計 5 題を試験時に選択 (願書に記入不要)		
		(1) 数学	(微積分、線形代数、微分方程式、複素関数論、フーリエ解析、ラプラス変換、確率・統計) から 5 題出題	
		(2) 電磁理論	(静電界、静磁界、時間的に変化する電磁界の基礎、電磁界中の荷電粒子の運動) から 2 題出題	
		(3) 電気電子回路	(線形回路の定常解析、線形回路の過渡解析、回路理論の諸定理、電子回路の基礎 (増幅回路、フィルタ回路)) から 2 題出題	
	(注意) (2) 電磁理論及び (3) 電気電子回路から合計で 2 題選択			
	専門科目	(1) ~ (3) 3 科目 (合計 6 題) から 3 題を試験時に選択 (願書に記入不要)		
(1) 制御工学 (1 題出題)				
(2) 信号処理 (1 題出題)				
(3) 量子電子物性	(量子論基礎、金属、半導体物性、誘電体・磁性体、半導体デバイス) から 4 題出題			

専攻	コース	試験科目			
環境・エネルギー	環境工学	小論文	環境問題に対する認識、問題発掘能力、研究計画立案能力などを問う論述形式の出題を行う		
		基礎科目	(1) ~ (3) の内 1 科目を試験時に選択 (願書に記入不要)		
			(1) 数学	(解析学、線形代数学、確率・統計)	
			(2) 物理	(力学の基本法則、熱力学の基本法則、電磁気学の基本法則)	
		専門科目	(3) 化学	(物理化学の基礎、無機化学の基礎)	
			(1) ~ (4) の内 1 科目を試験時に選択 (願書に記入不要)		
			(1) 共生環境デザイン	(都市計画学、都市デザイン学、土木建築情報学、建設生産システム、都市環境工学)	
			(2) 環境科学	(地球環境の変遷、水圏の科学と環境問題、大気圏の科学と環境問題、土壌圏の科学と環境問題、生物圏の科学と環境問題)	
		エネルギー量子工学	基礎科目	(3) 環境システム	(環境熱工学、環境伝熱、環境リスク評価・計画学、環境システム工学)
				(4) 環境材料	(金属材料学、セラミック材料工学、環境調和デバイス工学、資源リサイクル工学)
数学	(解析学、線形代数学、確率・統計) より出題される 3 題から 2 題選択 (願書に記入不要)				
産学官共創	基礎科目	物理	(力学の基本法則、熱力学の基本法則、電磁気学の基本法則) より出題される 3 題から 2 題選択 (願書に記入不要)		
		化学	(物理化学の基礎、無機化学の基礎) より出題される 3 題から 2 題選択 (願書に記入不要)		
		試験科目は、第 2 志望のコースと同じ試験科目で行います。			
地球総合工学	船舶海洋工学	数学	(線形代数学、微積分学、微分方程式、複素関数論、確率)		
		力学	(質点の力学、剛体の力学)		
		材料力学			
		流体力学			
		※ 筆記用具以外の携帯品 携帯用計算用具 (プログラム機能等を有しない電池式電卓)			
	社会基盤工学	数学	微積分、線形代数、微分方程式、フーリエ解析、確率・統計		
		専門科目	(1) ~ (4) の内 5 題を試験時に選択 (願書に記入不要)		
			(1) 構造力学・コンクリート工学 (2 題出題)		
	(2) 水理学 (2 題出題)				
	(3) 土質力学 (2 題出題)				
(4) 土木計画学 (2 題出題)					
※ 携帯用計算用具は必要に応じて貸与					
建築工学	(1) 構造力学				
	(2) 建築構造学 (各種構造、材料、振動)				
	(3) 建築計画学				
(4) 建築環境工学					
(5) 建築設計製図					
※ 筆記用具以外の携帯品 携帯用計算用具 (プログラム機能等を有しない電池式電卓)					
(5) 建築設計製図の携帯品についてはホームページを参照					
産学官共創		試験科目は、第 2 志望のコースと同じ試験科目で行います。			
ビジネスエンジニアリング	ビジネスエンジニアリング 産学官共創	基礎科目	(1) ~ (4) の内 1 科目を選択し入学願書に記入 (1) 数学 (3) 化学 (2) 物理学 (4) 科学技術論基礎		
		小論文			
		一般工学	(1) ~ (6) の内 1 科目を選択し、 <u>入学願書に記入</u> (1) 材料力学 (4) 都市計画学 (2) 電気・電子工学 (5) 物性科学 (3) 金属・無機材料学 (6) 工業化学		

《各種問合せ・請求先》

大阪大学工学研究科教務課入試係

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

Tel : (06) 6879-7226 (ダイヤルイン)

E-mail : iso-staff@eng.osaka-u.ac.jp

<http://www.eng.osaka-u.ac.jp/>